

市政改革プランについての意見(市民委員)

No	内容	回答
1	人口減少・税収減が進む中で、総花的にいろいろな事業を並べて取り組むだけでなく、事業を廃止したりするスキームもあって然るべきなのではないか。プランの実施計画に対してだけでなくその他の事業に対しての事業継続・中止判断基準の明確化・透明化とも言えることを改革プランの中に文字にして意思表示することで鳥取市政の情報公開がもう1ランクアップするように思います。	実施計画において「補助金適正化の推進」に取り組むこととしており、この中で事業目的や効果等の検証を行い、継続や見直し、廃止を検討していくこととします。
2	基金残高のようなトータルの目標値が欲しいという気がする。	P11「Ⅶ. 推進体制と進行管理」に総合目標として、財政調整基金及び減債基金の合計残高50億円を記載することとします。
3	市営サッカー場以外の公共移設でネーミングライツを募集する価値のある施設があるのか？またサッカー場にしてもガイナレ鳥取の試合が地元TVで中継できなくなり、ネーミングの価値が下がっている。鳥取銀行の後継者はめどがついているのか？	市営サッカー場以外の公共施設においてもネーミングライツ導入の可能性はあると考えており、募集に向けて検討しています。 なお、鳥取銀行に替わる市営サッカー場のネーミングライツスポンサーを募集した結果、新たなスポンサーが決定しました。スポンサー料は、年額300万円(税別)から500万円となりました。
4	①「何を外部委託するのか？」という課題については、引き受けた事業者のやる気を引き出すという観点が必要であるとする。引き受けた事業者側にも仕事のやりがいや効率的に行おうとするインセンティブが働くよう、外務委託する業務を選択すべき。 ②最終的には、人事や財務の柔軟性により無駄な業務を省き、業務運営上の工夫やAI・RPAの活用により、従事者1人当たりの生産性を高めることで効率化を進め、コスト削減できれば外部委託は不要と考える。	①実施計画において「外部委託等推進方針の見直し」を行うこととしておりますので、今後、ご意見いただいた内容も併せて検討してまいります。 ②ご指摘のとおり、まずは業務運営上の工夫によって効率化を図ることが必要だと考えております。そのうえで更なる効率化や市民サービスの向上を目指すにあたっては、AI・RPAや外部委託など、最適な手法を模索してまいりたいと考えています。